



あまりの迫力にびっくり！
 ～一般国道400号 現場見学会～

大 田原土木事務所が整備を進めている一般国道400号の下塩原第一橋梁(仮称)を、10月26日に塩原小中学校の9年生9人が見学しました。生徒たちは普段なかなか見ることのできない橋の施工作业やアーチ橋、大きいクレーンを目の当たりにして、「迫力がすごい！」と驚きを隠せない様子でした。見学後、「この大きな橋を作るのにどれくらいの方が働いているのか」など生徒たちは興味深く説明を聞いていました。



でこぼこ 凸凹道もなんのその！
 ～THE DAYパーク 自転車体験会～

中 塩原地区の休耕地などに隣接したあぜ道を自転車コースに整備したTHE DAYパークで、10月25日にマウンテンバイク体験会が行われました。企画したのは、県北地区の若者で結成された「青空プロジェクト“THE DAY”」代表の若島陽一さん。口コミやSNSによる呼び掛けにより、市内外から自転車愛好家や親子連れなど約80人が参加しました。会場では凸凹道や段差をものともせず、壮快に滑走する姿が見られました。



湖上から景色を見てみよう
 ～塩原溪谷探検ツアー～

塩 原の魅力をもっと違った角度から体験してほしいと、塩原温泉観光協会が企画した「塩原溪谷探検ツアー」。10月14日、そのお披露目会が行われ、地元の観光従事者などが参加しました。ツアーはおよそ1時間半の行程で、カヌーやサップボードに乗り、塩原ダム湖から回顧の滝を目指します。参加者は初秋の景色を楽しみながら、「体を動かして、子どもも喜びそう」「紅葉の時期にまた体験したい」と大きな期待を寄せていました。



消防団のお仕事、かっこいい！
 ～黒磯小学校 地元消防団の実演授業～

10 月7日、黒磯小学校3年生の社会科の授業の一環で地元消防団による放水訓練の見学や火事の煙の疑似体験が行われました。例年行われている消防署見学が中止になった代わりに企画されたこの行事。放水訓練が始まると子どもたちから大きな歓声が上がりました。質問会では、「どんな訓練をしているのか」「なぜ消防団員になったのか」などの質問があり、子どもたちは消防団員の言葉に熱心に耳を傾けていました。



皆さんの人権はみるひいが守ります
 ～みるひい じんけん大使委嘱～

県 内各地で行われている人権啓発活動は、知名度のあるご当地キャラクターを「じんけん大使」に委嘱し、より身近に感じてもらうことで啓発効果を高めています。10月23日には本市のブランドキャラクターみるひいの委嘱状交付式が行われました。委嘱を受けたみるひいは、駆け付けてくれた法務省の人権擁護キャラクター「人KENまもるくん」と「人KENあゆみちゃん」と一緒に、さっそく市役所で人権啓発活動を行いました。



子どもたちに花の魅力を
 ～箒根中 4Hフラワープロジェクト～

若 手農業者で組織され、農業のPRや地域貢献活動に積極的に取り組んでいる青少年クラブ協議会(4Hクラブ)。子どもたちに身近に楽しめる花の魅力を伝えたいと、箒根中学校で花育の活動を実施しました。箒根中学校の全校生徒が参加し、那須拓陽高校の高校生が育てたパンジーの苗を校内の花壇やプランターに植え替えました。生徒たちは「今日植えたパンジーで、学校がどんな景色になるのか楽しみ」と目を輝かせていました。



あっ！ 僕が見つけたよ！
 ～リアル宝探し 塩原温泉財宝伝！～

塩 原温泉郷で11月1日まで行われていた「リアル宝探し」。豪華賞品を目指して約600組が参加しました。温泉街のゆったりとした雰囲気を感じながら謎を解いて散策するこのイベントは、親子連れに大人気。宝箱を見つけた子どもの「あった！」という声は、新型コロナの影響を受けた温泉街にも元気を与えてくれました。参加者は、温泉で体を休めたり、散策をしながらとて焼きを味わったりして、それぞれ温泉街を楽しんでいました。



こんなお土産あったらいいな
 ～お土産品開発高校生ワークショップ～

平 成30年、日本遺産の認定を受けた那須野が原の歴史。その日本遺産をイメージしたお土産品開発のための高校生ワークショップが10月8日に黒磯南高校で開催されました。参加したのは地域研究クラスの3年生20人で、用意された素案を基に思いつくアイデアを絞り出しました。発表では「勲章をチョコレートにしてみようか」や「元勲キャラクターのカプセルトイを作る」など高校生ならではの意見がたくさん出ました。